

令和2年5月15日

病・医院長 殿
施設長 殿

気仙沼市医師会臨床検査センター
所長 菊地 淳一
(公印省略)

検査測定法変更のお知らせ

日頃は、当センターをご利用いただき誠に有難うございます。

さて、この度、宮城県医療政策課より通知があり、「ALP」「LD」の2項目について測定法を変更することとなりました。

従来の測定法である「JSCC法」から国際臨床化学連合の標準測定法「IFCC法」への変更となります。

なお、従来法と比較して、測定値に差異が認められますので同封の文献等をご参考にしていただきます様、宜しくお願い致します。

この測定法変更への措置は、令和2年度内に行うよう日本臨床化学会からも提言されておりますので、何卒ご理解賜ります様よろしくお願い申し上げます。

記

- 変更理由： 1. 疾病以外での測定値高値の改善
2. 国際的共同治験への対応

検査内容変更項目

- ◆ ALP (アルカリフォスファターゼ)
- ◆ LD (LDH)

※変更期日：令和2年6月1日（月）受付、以降報告分より変更

詳細につきましては、次ページをご参照ください。

ALP（アルカリフォスファターゼ）

◇変更内容	新 法	現 行 法
検査項目名	ALP	同左
報告名称	ALP (IFCC 法)	ALP (JSCC 法)
検体必要量	血清 0.5 ml	同左
保存方法	冷蔵	〃
検査方法	IFCC 標準化対応法 (AMP 緩衝液)	JSCC 標準化対応法 (37℃)
参考基準値	成人 38～113 U/L	成人 100～340 U/L
所要日数	1 日	同左
診療報酬	実施料：11 点	〃

LD (LDH)

◇変更内容	新 法	現 行 法
検査項目名	LD (LDH)	同左
報告名称	LD (IFCC 法)	LD (JSCC 法)
検体必要量	血清 0.5 ml	同左
保存方法	冷蔵	〃
検査方法	IFCC 標準化対応法 (NMG 緩衝液)	JSCC 標準化対応法 (37℃)
参考基準値	成人 124～222 U/L	成人 100～245 U/L
所要日数	1 日	同左
診療報酬	実施料：11 点	〃

参考文献

日本臨床検査標準協議会基準範囲共用化委員会編：日本における主要な臨床検査項目の共用範囲－解説と利用の手引き, http://www.jccls.org/2020013103_1.pdf